

令和5年度事業報告

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

(事業の概況)

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5月8日から「5類」に移行し、旅行需要や消費回復への機運が高まったことを受け、広域8市町や関係団体、地域の地場産業事業者と連携し、県外物産展やイベント等に積極的に出店するなど、盛岡広域の地場製品の宣伝紹介に努めた。令和5年1月にアメリカのニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2023年に行くべき52カ所」に「盛岡市」が選ばれて観光地としても注目され、盛岡手づくり村にも活気が戻り、国内外からの多くの訪問客で賑わった。

センターの主な事業としては、地場製品の紹介と普及啓発、体験学習、資料展示等の事業に取り組む一方、施設の賃貸、地域外商品やアロニア関連商品の販売、各種地場製品の普及宣伝、体験学習を通じたキャリア教育、人材育成事業のほか、東京・沖縄の「盛岡デー」出店、盛岡市の委託事業による「台湾裕毛屋岩手県物産展」への出店や伝統工芸青山スクエア「工芸の街もりおか〜うるしと鉄の物語〜」の開催、盛岡市特産品振興協議会委託事業の「いわて・もりおか冬旅フェア」や「うるま市産業まつり」等の物産展やイベントへの参加とともに、昨年に続き盛岡市の緊急経済対策により実施した、県外に進学した学生に地元特産品の詰め合わせを送付する「もりおかエール便」、企画商品の受注等、地域経済の回復と業界の振興に取り組んだ。また、県内外の小・中学校の修学旅行の受け入れを行い、工芸品などの手づくり体験を通して、ものをつくる楽しみや感動を体感し、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解が深まるよう努めた。

このほか、10月から新たな免税システムを導入し、外国人団体客・個人客への販売支援と利便向上に取り組んだほか、盛岡市多言語表示案内看板等設置事業補助金を活用し、盛岡手づくり村を訪れる外国人旅行者への情報提供に努めた。また、岩手大学などと連携して盛岡手づくり村多言語インスタグラムを開設し、1月から定期的な情報発信を行った。

センターの入場者数は対前年度比130.7%の約28万9千人、展示即売室の売上は同121.9%となる約1億7,488万円で、コロナ禍前と比較すると、入場者数は7割超にとどまるが、売上はほぼ同水準に回復した。なお、外国人訪問客数は個人客を含まない団体ツアーに限り、16の国と地域から約700団体、約1万9千人が来場し、連日ツアーバスで賑わった。

1 地場産業振興事業（公益目的事業）

公益目的事業として、地場産業の振興に資するため、地場製品の紹介と普及啓発、手づくり教室体験、地域地場産業への理解を深める展示資料室の運営に取り組んだ。

(1) 地場製品紹介普及啓発事業

本事業は、盛岡広域で生産される国指定伝統的工芸品ほか各種工芸品、食品等の地場産品を国内外の消費者に紹介し、普及啓発を図ることを目的とする。今年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に移行し、海外からの旅行者が回復したことを受け、売場商品の充実を図り、委託事業を活用しながら物産展への出店販売を積極的に行った。また、盛岡市の経済対策事業である「もりおかエール便事業」「盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業」を通じて、地場製品の宣伝・販売を実施した。

ア 展示即売事業

- ① 新商品・旬の商品コーナー設置

センター展示即売室に、話題の新商品などの紹介コーナーや企画コーナーを設置し、新商品や地場企業に関する情報発信機能を高め、販路拡大に努めた。

② ふるさと納税返礼品に係る企画商品の開発

「ふるさと納税」の返礼品について、地場産品を組み合わせた企画商品の提案を行った。

③ センターロビーにおいて、岩谷堂筆筒入礼会・販売会を実施した。(5月・8月・1月)

④ 展示即売室の機能強化・充実

- ・来場者に地場産品に関する詳しい情報を伝えるため、展示即売室に従事する職員等の知識・接客等の向上に向けた研修を実施した。
- ・盛岡広域で製造、加工される地場産品を、国内外から訪れる観光客や修学旅行生などに広く紹介し、盛岡広域が持つ魅力の情報発信に努めた。
- ・10月から新たな免税システムを導入し、外国人観光客の売上増に努めた。(免税売上金額 7,047,356円 取扱件数 615件)
- ・イベントスペースに、おすすめ商品コーナーを設けるとともに、展示会等を開催し、地場産品の普及宣伝に努めた。また、事業者に対して展示会や試食販売など効果的な販売促進を周知しながら、施設の有効活用を図った。
- ・出展業者に対する販売情報提供サービスとして、POSシステムデータを分析した月毎の販売動向を提供し、新商品の企画、開発や販路開拓を支援した。また、消費者の需要動向を踏まえた商品づくりを積極的に働き掛けるなど、地場産業界の商品開発力、販売力、企画力の向上を促進した。
- ・年間のイベントカレンダーを作成し、季節感を演出しながら変化のある売場づくりに努め、来場者の増加を目指した。
- ・商品構成の見直しや新商品の開拓を行い、消費者満足度の向上に努めた。
- ・展示即売室の接客を通して、消費者の需要動向の把握に努めるとともに、事業者への情報提供を適宜行い、商品説明のPOPの充実に努めるなど地場産品の普及宣伝に努めた。
- ・修学旅行の誘致とともに、盛岡広域の地場産品の購買機会の拡大に向けて、土産品購入額に応じ、取扱旅行代理店に対して手数料を提供した。
- ・消費者需要の高まるお中元とお歳暮の時期を中心に、即売室内にギフトコーナーを設置し、広告宣伝に努め、地場産品の積極的な普及を図った。
- ・消費者に対して効果的な商品説明に努め、消費者の視点に立った展示企画、表示を工夫し、消費者に好まれ、選ばれる、親切的な売場づくりを目指した。
- ・接客サービスの向上に向けて、盛岡広域の窓口としての自覚を持ったおもてなしに努めた。
- ・物品やレジの消毒を定期的に行い、衛生管理に努めた。
- ・外国人観光客が戻ってきたことから、スムーズな買物ができるように外国語の説明やPOPなどの充実に努めた。
- ・盛岡や商品に関する紹介(TV・広報誌など)を話題にし、売場作りやPOPに活かし、販売促進を行った。
- ・伝統工芸品のポスターを作成し、展示即売室や外販でブランドイメージの普及・PRを行った。
- ・ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」の特集で盛岡市内の喫茶店が取り上げられ、注目されたことから、展示即売室や外販会場で数店舗のコーヒーや菓子を販売・紹介し、ブランドイメージの普及・PRを行った。

- ・展示即売室にワークショップコーナーを設け、三大麺や伝統工芸品のワッペンを使った帽子・巾着の作成を通じ、地場産品の普及につなげた。
- ・盛岡市多言語表示案内看板等設置事業補助金を活用し、盛岡手づくり村を訪れる外国人旅行客の利便向上を図るため、工房アクリル看板の設置や全体案内板等の内容修正・修繕を行い、地場産業及び地場産品の普及宣伝を行った。

イ 物産展・展示会への出展

- ・首都圏や沖縄県で開催される物産展などに盛岡市特産品振興協議会・盛岡デー実行委員会から委託を受けて出店し、販路拡大に努めるとともに県外の消費者に盛岡広域の地場産品をPRした。

<県外>

- G 7 仙台科学技術大臣会合東北物産展（仙台市 5月）
- 「東北絆まつり2023」（青森市 6月）
- 盛岡デーin東京2023「イオンスタイル板橋」（東京都 7月）
- 肝高の阿麻和利東京公演物販（東京都 8月）
- 「みちのく盛岡の名品と観光展」（水戸市 8月）
- 「2023なかの東北応援まつり」（東京都 10月）
- 「2023いわて盛岡デーin沖縄」（うるま市等 10月）
- 「東北の食・魅力発信イベント」（仙台市 11月）
- 高槻市市政80周年記念フェスタ（高槻市 11月）
- モリハチ祭りin文京シビックセンター（東京都 12月）
- うるま市産業まつり（うるま市 1月）
- 2024「また行くべき盛岡観光物産展in東京」（東京都 2月）
- 板橋イオン東北フェア（東京都 3月）

<県内>

- 前潟イオンりんごフェア（11～12月）

<全国センター等>

- 高岡地域地場産業センター物産展（高岡市 10月）

<常設展示 4月～3月>

- 「イオン盛岡・もりおかん」常設委託販売
- 「もりおか歴史文化館」常設委託販売
- 「もりおか啄木・賢治青春館」常設委託販売
- 「らら・いわて」常設委託販売

ウ インターネット（楽天市場「盛岡手づくり村オンラインショップ」）

- ・期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ・内容：食品・工芸品等 約500アイテム出品
そのほか、販路拡大に向けて、Yahoo!ショッピングに「盛岡手づくり村オンラインショップ」開設の準備を進めた。

(2) 体験学習事業

全国から盛岡手づくり村を訪れる来場者を対象に、「体験学習」を実施した。伝統の技や製作工程を間近に見て、触れて、体験できるのは、盛岡手づくり村の最も優れた魅力であり、工房の職人の技を生かし、工芸品などの手づくり体験を通して、ものをつくる喜びや楽しみ、感動を体感し、地域の文化や風土、そこから生み出された工芸品への理解を深めてもらえるよう取り組んだ。また、当施設を訪れた修学旅行等団体を対象に再訪のアプローチを行い、令和5年度においても手づくり教室の体験者を確保し、更に次

年度につながるよう効果的な対応を行った。

- ・手づくり教室の開催（通年） 陶器、陶器絵付、天然藍染、竹細工、郷土玩具、はたおり、こけし絵付、冷麺
- ・修学旅行や団体旅行の行き先決定のための事前調査で来訪する学校教諭や、企業・団体の関係者に手づくり教室の詳細や盛岡手づくり村の魅力を伝えることにより、確実な来場者確保に努めた。

(3) 展示資料室運営事業

盛岡地域の地場産業に対する理解を深めてもらうことと地場産業の振興・発展を目的に、県内外から訪れる来場者に対して、歴史や製造工程、製作者等を資料やパネルで紹介したほか、伝統的工芸品の展示を行った。また、広域8市町と連携しながら広域の地場産品の紹介を行った。

- ・盛岡広域8市町との連携から、展示資料の充実を図り、広域の地場産業の振興に努めた。
- ・社会科見学で来場する広域の小学生に対し、資料室を活用した学習を支援した。

2 人材育成事業（公益目的事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図り、地場産業の活性化と振興に努めた。

(1) 人材育成事業

- ・盛岡手づくり村ホームページ上で、手づくり産業の後継者等で構成する岩手山麓工芸40工房の紹介を継続した。
- ・盛岡市が制作した「歩いて 紡いで もりおか物語」のダイジェスト版「ものづくり編」を、盛岡手づくり村ホームページ上で引き続き紹介を行い、盛岡のものづくり産業及び事業者のPRを行った。

(2) 地場産業学習支援事業

- ・ものづくり産業への理解とキャリア教育の推進に向けて、協同組合盛岡手づくり村や南部鉄器協同組合と連携し、盛岡広域内小学校5校261名への社会科見学の対応を行った。

3 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合・自動販売機業者と契約を継続し、センター運営に必要な収益の一部とした。

- ・南部鉄器協同組合への貸し付け（事務所、倉庫）
- ・自動販売機業者への貸し付け（みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、カイジョー株式会社）

4 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設け、収益性の高い商品やアロニア関連商品の販売を行い、収益の拡大を図った。

(1) 「盛岡手づくり村 マルシェ」の運営

- ・鉄瓶コーヒーをマルシェのメニューに取り入れ、ニューヨーク・タイムズ紙で喫茶の街盛岡として選出された紹介とPRを行った。
- ・御所ダムとのコラボ商品であるダムカレーに期間限定で、花火をイメージしたトッピングを加えた特別ダムカレーを提供し、盛岡手づくり村と御所ダムのPRを行った。

- ・地元の酒粕を使った甘酒のメニューを、寒い時期の期間限定で提供し、国内外の観光客に岩手の地酒をPRし、その周知に努めた。

(2) アロニア関連商品の開発・販売

- ・アロニア商品紹介コーナーに繁体字のPOPを加え、増加する台湾観光客にPRを行った。

(3) 盛岡手づくり村 オリジナル商品の考案・販売

- ・地場産業や文化の振興のため、手づくり村オリジナルTシャツに鉄瓶コーヒーのデザインを制作し、地場産品と一緒に展示・販売した。

5 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、協同組合盛岡手づくり村、盛岡地域地場産業振興センターの三者が共有する施設の維持管理を行った。

6 南部曲り家地場産品普及宣伝事業（その他の事業）

国内外から訪れる観光客に対し、地場産業や地域文化への理解を深めることを目的に、見学施設として南部曲り家を活用した。また、主に修学旅行で訪れる学生の体験学習の会場として活用し、地場産業の歴史や民芸品の宣伝紹介を行った。

7 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

緊急経済対策等で実施された盛岡市の次の委託事業を受託した。

- ・もりおかエール便事業（契約期間 令和6年1月9日～令和6年6月30日）

物価高騰の影響を受けている盛岡市出身の県外進学者に、盛岡地域の特産品を詰め合わせた「もりおかエール便」（5,000円相当）を提供し、生活支援を行うとともに、地元特産品への理解促進や消費拡大を図り、消費の下支えにつなげる事業を盛岡市から受託し、実施した。（商品代と送料等は盛岡市負担）

受付期間 令和6年1月24日～ ＊令和5年度受付実績 1,401件

発送期間 令和6年2月1日～ ＊令和5年度発送実績 1,370件

- ・盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業

盛岡手づくり村を通じて伝統的工芸品等を展示販売する機会に盛岡広域の特産品を出品させることによって、事業者の商品力の向上や海外を含む販路の拡大を図るとともに、盛岡手づくり村における団体等関係者との連携体制やネットワークを維持・強化することで、盛岡手づくり村の「ものづくりの拠点性」の向上を図り、地域のものづくり産業の振興を図る事業を盛岡市から受託し、実施した。

○台湾「裕毛屋」岩手県物産展への出展及び現地視察

出展期間：令和5年11月24日（金）～26日（日）

会場：台湾台中市 スーパー裕毛屋 公益店

○伝統工芸青山スクエア「工芸の街もりおか～うるしと鉄の物語～」の開催

出展期間：令和6年3月8日（金）～14日（木）

会場：伝統工芸青山スクエア（東京都港区赤坂8-1-22）

○効果的な展示方法等研修会の実施

講師：株式会社うるみ工芸 代表取締役社長 藤村 真紀氏

日程：令和6年2月20日（火）

会場：盛岡地域地場産業振興センター展示即売室

参加者：振興センター従業員8名

- ・盛岡文士劇東京公演物販等事業

東京で行われた盛岡文士劇東京公演会場において、来場者に地場産品のPR及び販売を行った。

出展日：令和5年5月20日（土）

会場：文京シビックホール

8 交流促進事業（その他の事業）

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、広域8市町と連携し、季節ごとの催事を企画、開催するほか、他団体主催のイベントへの協力を行い、地場産品の普及宣伝に努めた。

- ・盛岡手づくり村ゴールデンウィーク2023（4月29日～5月7日）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため従前の「春まつり」の規模を縮小して開催（キッチンカーの出店、彫金実演、彫金体験、岩谷堂箆筒入札会等）
 - ・盛岡手づくり村夏まつり2023（8月11日～13日）
期間限定特別体験教室・特別企画、飲食・キッチンカーの出展、岩谷堂箆筒販売会、彫金実演・彫金体験、展示即売室特別企画教室、食堂営業等
 - ・盛岡手づくり村秋まつり2023（10月7日～9日）
期間限定特別体験教室・特別企画、キッチンカーの出展、岩谷堂箆筒展示入札会、彫金実演・彫金体験、展示即売室特別企画教室、食堂営業、職人展の共催等
 - ・盛岡手づくり村お正月フェア2024（1月6日～8日）
期間限定特別体験教室、福箆筒販売会、展示即売室特別企画教室、福引き大会、福袋販売、食堂営業等
- *2023盛岡手づくり村工房まつり（9月9日・10日）ワーキング委員催事協力

9 管理運営事業（法人会計事業）

当振興センターは、盛岡地域の地場産業振興と観光の拠点施設として、国内外等からの来場者に利用されているが、令和5年度は例年同様に施設の環境整備や施設維持管理等を行ったほか、盛岡広域の情報提供を行った。

(1) 振興センター入場者への宣伝・紹介

- ・入場者等への案内、説明、誘致宣伝活動
- ・観光客、視察来訪客への案内、説明
- ・パンフレットの配付
- ・旅行代理店との提携による来場者の誘致、パンフレット送付等
- ・電子掲示板を活用した観光、物産、施設等の紹介
- ・マスメディア利用による宣伝、普及活動
- ・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等への広告、情報提供、取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	会議名	会場	内容
令和5年6月2日	第1回理事会	盛岡市勤労福祉会館	令和4年度事業報告・収支決算、定時評議員会の開催ほか
令和5年6月20日	第1回評議員会	地場産業振興センター	令和4年度事業報告・収支決算、理事・監事の選任ほか
令和5年9月16日	臨時理事会	書面表決	臨時評議員会の開催
令和5年9月28日	臨時評議員会	書面表決	役員を選任

令和5年10月16日	臨時理事会	書面表決	理事長の選定
令和6年2月19日	第2回理事会	盛岡市勤労福祉会館	令和5年度補正予算、令和6年度事業計画・収支予算、臨時評議員会の開催ほか
令和6年3月13日	第2回評議員会	地場産業振興センター	令和5年度補正予算、令和6年度事業計画・収支予算ほか

(3) 職員研修の実施

- ・効果的な展示方法等職員研修会 2月

(4) 盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会の実施

盛岡広域8市町の広域経済の活性化を図ることを目的に、広域市町の課長で組織する盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会を令和5年5月当センターで開催し、(仮称)盛岡広域特産品販促キャンペーン事業実施について検討を行った。

(5) 盛岡広域内の情報提供の実施

玄関ロビーに設置した「盛岡広域インフォメーション」を活用し、来場者に対して盛岡広域8市町の観光行事等を紹介した。(通年)

(6) 電子掲示板による紹介

盛岡市に寄贈され、当センターロビーに設置された電子掲示板を活用し、盛岡地域の観光・物産情報や盛岡手づくり村の紹介宣伝等を行った。

(7) 施設内の環境整備

協同組合盛岡手づくり村と協力し、一斉清掃、春・夏のプランター整備を行った。

(8) 盛岡手づくり村インスタグラムの開設

令和5年度地域課題解決プログラムを活用し、岩手大学、岩手大学留学生、岩手大学研究支援産学連携センター、協同組合盛岡手づくり村と共同で、盛岡手づくり村多言語インスタグラムを開設し、令和6年1月9日から情報発信を定期的に行なった。

(9) 長期借入金返済猶予

商工組合中央金庫に10月から開始予定の長期借入金返済について、1年間の支払猶予事務を行った。

(10) パブリシティ

＜新聞、雑誌等＞

- ・8月1日(火) 岩手日報「まるで御所ダム 限定カレー販売 盛岡手づくり村マルシェ」
- ・10月26日(木) 岩手日報「伝統曲り家 彩り描く」
- ・10月29日(日) 岩手日報「華やか舞 東京盛り上げ なかの東北絆まつり」
- ・1月26日(金) 岩手日報「おでんせ冬の盛岡 東京駅で来月3・4日フェア」

＜テレビ等＞

- ・9月2日(土) 岩手めんこいテレビ「サタデーファンキーズ」
- ・1月26日(金) テレビ朝日「スーパーJチャンネル」